vol.33
くりんちゃん通信
芦田川環境マネジメントセンター ニュースレター
2023年2月

【発行・事務局】
芦田川環境マネジメントセンター（AEMC）
〒720-8555　広島県福山市西町2-10-1
福山商工会議所ビル1F　エフエムふくやま内
TEL（084）920-8777
E-mail　aemc@fm777.co.jp
Homepage
http://fm777.co.jp/pc/aemc/index.html

TOPICS 1 “芦田川　川の健康診断”を春、秋に開催

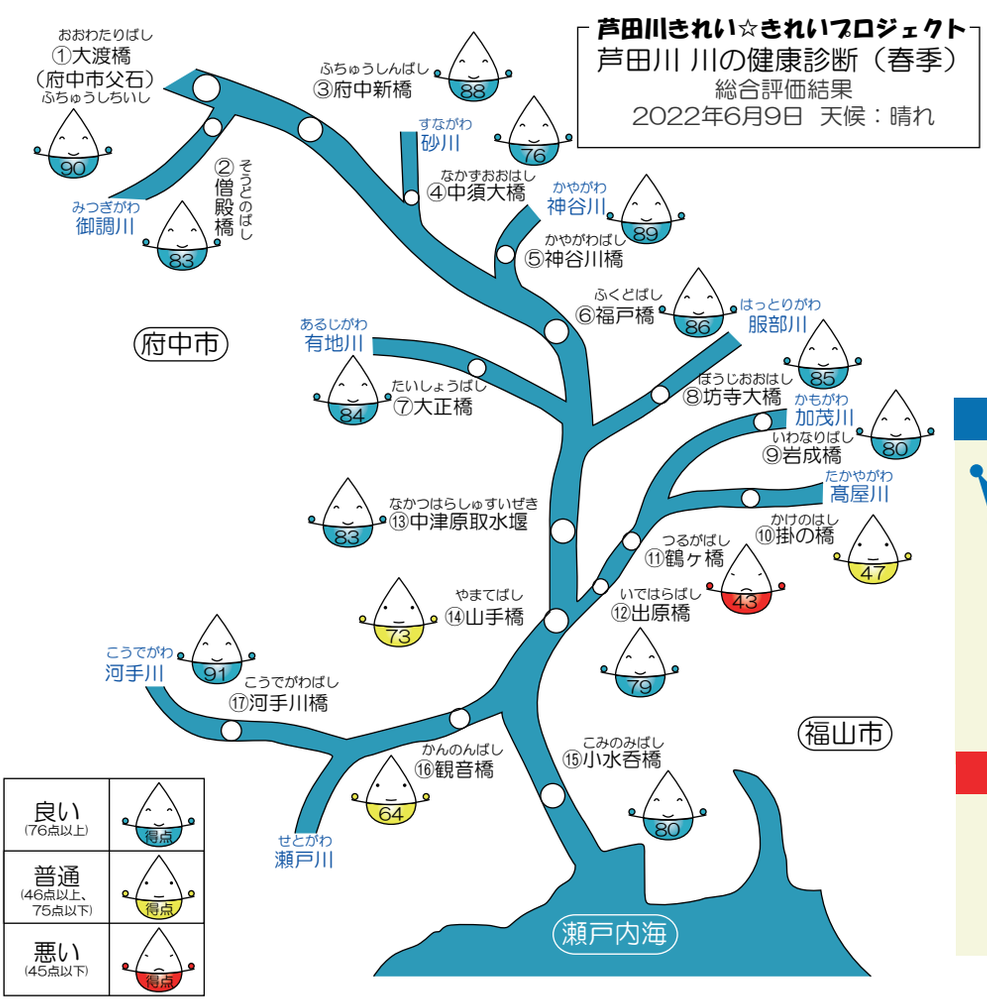
芦田川とその支川の17地点を対象に、川の水質、見ためなどを評価する“芦田川　川の健康診断”の春季調査を2022年6月9日（木）に、秋季調査を2022年11月10日（木）に開催しました。（参加者：春季・秋季スタッフのみ）

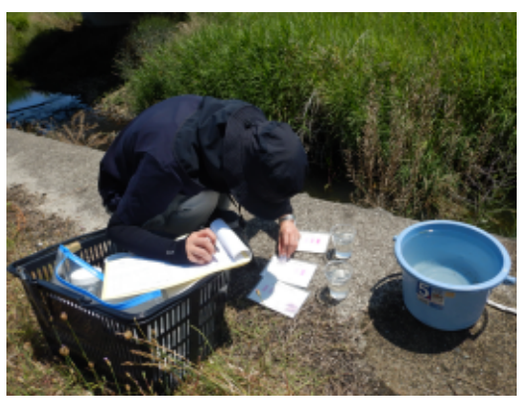
調査は、地点毎に、水質チェック（COD、亜硝酸、りんのパックテストによる簡易水質測定）、感覚チェック（見た目や色、匂い、手触りなどによる評価）を行いました。

また、調査後は、“芦田川見る視る館”にて、透視度の計測などを行うとともに、各地点の調査結果を集計しました。

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮してスタッフのみで調査を行ないました。

2022年度 芦田川『川の健康診断　春季調査』総合評価結果





上位ランキング

1位　⑰河手川橋（河手川）：91点

2位　①大渡橋（芦田川）：90点

3位　⑤神谷川橋（神谷川）：89点

下位ランキング

1位　⑪鶴ヶ橋（高屋川）：43点

2位　⑩掛の橋（高屋川）：47点

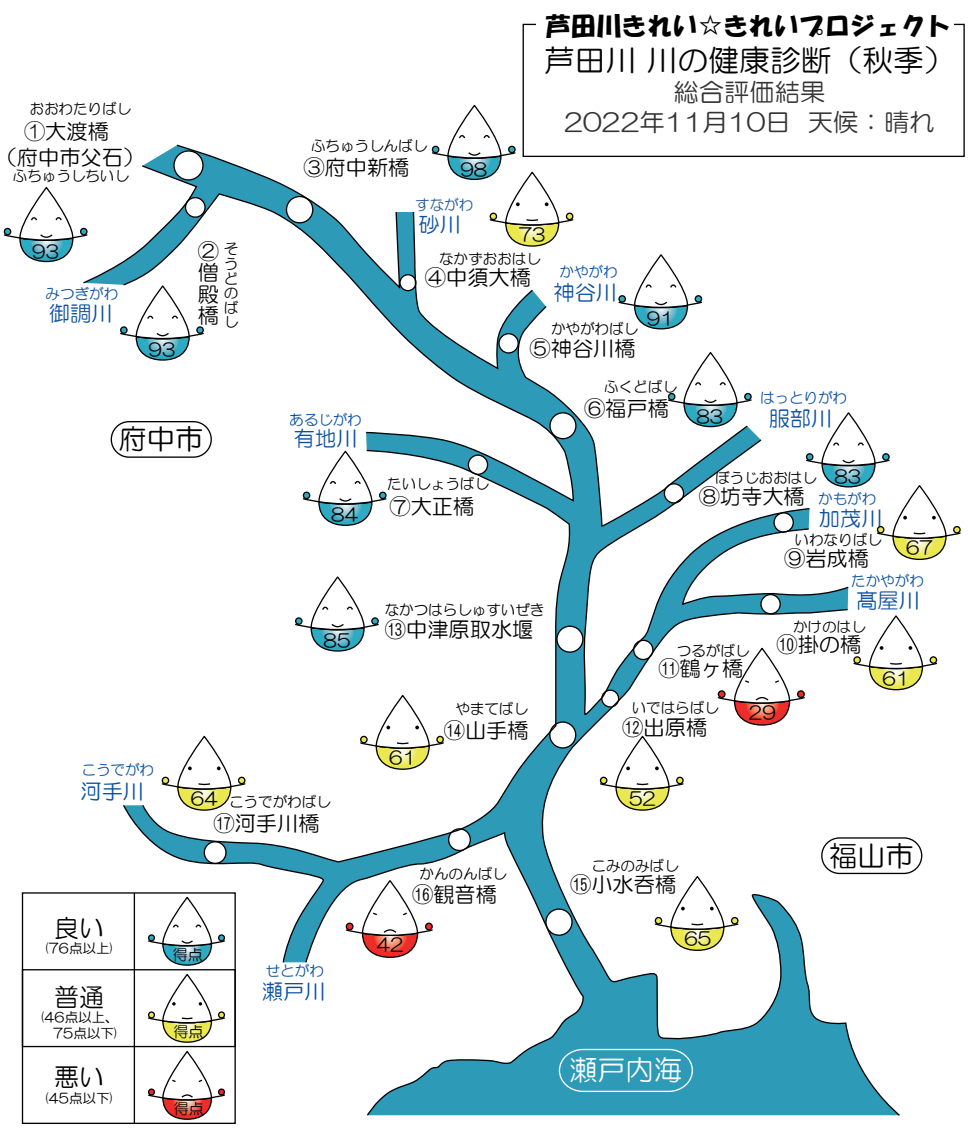
3位　⑯観音橋（瀬戸川）：64点

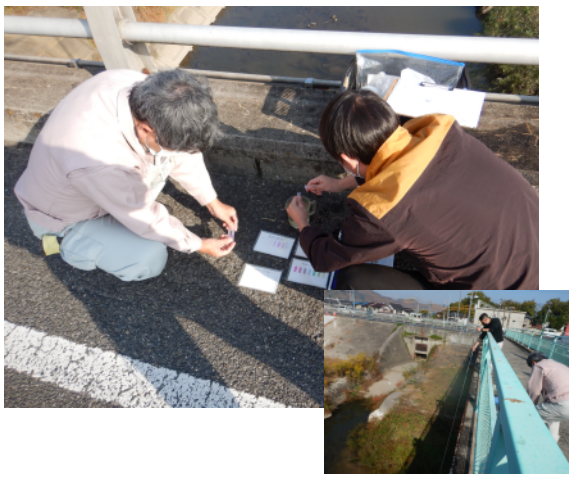
春季調査の結果まとめ

春季調査では、芦田川上流部の①大渡橋、支川河手川の⑰河手川橋や支川神谷川の③神谷川橋などで比較的評価が高く、支川瀬戸川の⑯観音橋や支川高屋川の⑩掛の橋・⑪鶴ヶ橋などで評価が低い結果となりました。

今年は、春先から雨が少なく水量が少ない場所や田んぼのしろかき等の一時的な濁りが見られる場所、川の中で工事が行われている場所等もあり、例年に比べて評価の下がった地点も見られました。少雨による川の水量の減少の影響が大きい状況ですが、極端な水質悪化も見られないことから、これまでの水質改善の取り組みによる効果と考えられます。

2022年度 芦田川「川の健康診断 秋季調査」総合評価結果





上位ランキング

1位 ③府中新橋(芦田川)：98点

2位 ①大渡橋(芦田川)：93点
②僧殿橋(御調川)：93点

3位 ⑤神谷川橋(神谷川)：91点

下位ランキング

1位 ⑪鶴ヶ橋(高屋川)：29点

2位 ⑯観音橋(瀬戸川)：42点

3位 ⑫出原橋(高屋川)：52点

秋季調査の結果まとめ

秋季調査では、支川御調川の②僧殿橋、支川神谷川の⑤神谷川橋、芦田川上流の調査地点である①大渡橋・③府中新橋などで比較的評価が高く、支川瀬戸川の⑯観音橋、支川高屋川の⑪鶴ヶ橋・⑫出原橋などで評価が低い結果となりました。全地点とも比較的高い評価結果となりました。

本年度調査全体の結果まとめ

本年度調査では、河川流量の少ない春調査で低評価、比較的安定した気候が続いた秋調査で高評価という結果となりました。特に比較的水量があった芦田川中流部の中津原取水堰で、春・秋ともに高い評価となりました。一方、下流部で芦田川に合流する高屋川や瀬戸川の調査地点では、春・秋ともに低い評価となりました。

調査地点全体の傾向としては、過年度の調査結果と同様に、上流の地点で比較的水質が良好で、市街地を流れる支川（高屋川、瀬戸川等）の下流部や支川合流後で水質が悪くなる傾向であり、生活排水などの影響が大きいものと考えられます。

TOPICS 2　2022年度「芦田川　水辺の学び舎」を開催

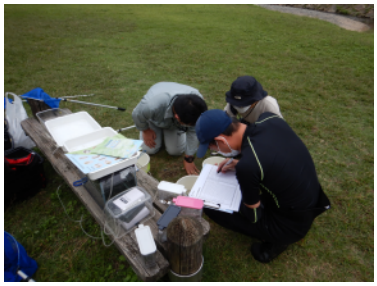
今年も流域住民の皆さまに水環境改善へ関心を持っていただくため、"芦田川 きれい☆きれいプロジェクト"の一環として、流域の子どもたちを対象に、芦田川をフィールドとした体験学習会「芦田川 水辺の学び舎」を9月に開催する予定でした。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染・拡大により、 今年度の一般参加の開催は中止することといたしました。

下はスタッフのみで実施した調査結果です。

芦田川　府中大渡橋付近

出口川合流部付近

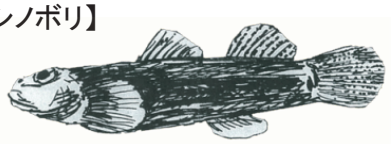


見つけたよ！
こんなさかな

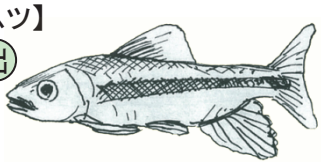
【アカザ】 府 **貴重種**

【カマツカ】 府 出

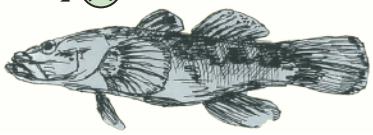
【カワヨシノボリ】 府 出



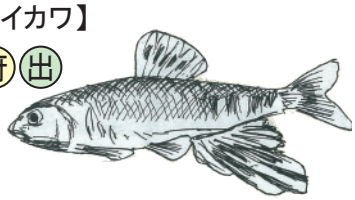
【カワムツ】 府 出



【ドンコ】 出

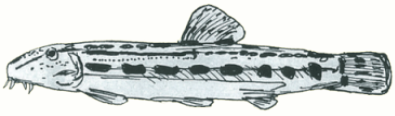


【オイカワ】 府 出



【コウライニゴイ】 出

【オオシマドジョウ】 出



府 府中大渡橋で見つかった魚　　出 出口川で見つかった魚

そのほかに見つけた生物（府中大渡橋付近）

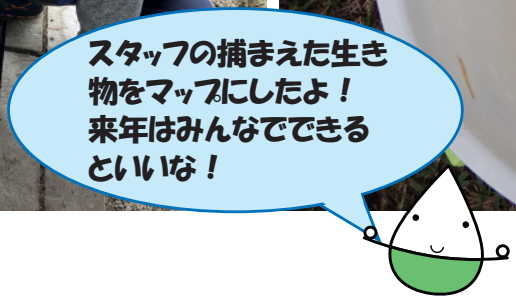
・カワゲラ　・ナガレトビケラ
・オオシマトビケラ　・ヒラタドロムシ
・コオニヤンマ　・カワニナ
・ハグロトンボ　・シジミ属
・カゲロウ目　・ヌマエビ科
・トンボ目　・ヒゲナガカワトビケラ
・アメンボ　・サナエトンボ科

そのほかに見つけた生物（出口川合流部付近）

・ヒラタカゲロウ　・ヒラタドロムシ　・ゲンジボタル
・コオニヤンマ　・カワニナ　・ハグロトンボ　・シジミ属
・スジエビ　・アメンボ　・ウシガエル　・サナエトンボ科
・ヌマエビ科　・カゲロウ目

肌寒く水温も低い日でしたが、スタッフで調べた府中大渡橋では、貴重種のアカザや、様々な種類の生き物も見つかりました。

両地点とも平成30年7月の大雨から４年を経て、自然な川底に生息する魚を今年も確認する事ができ、元の環境が戻りつつある傾向が見られることが確認できました。

TOPICS 3 「芦田川さかなマップ」を作成しました

新型コロナウイルスの感染・拡大により一般募集を中止した「芦田川　水辺の学び舎」では、府中大渡橋と出口川において、スタッフが水生生物や魚などの生き物調べ、水質調査などを行った後、川の様子や捕まえた魚の特徴、調査の結果などを記入しました。また、講師から魚の生態などについて説明していただき、その結果をもとに、事務局でイラストや紹介文章などの調整を行い作成した「芦田川さかなマップ」を下に示します。今年度の開催は中止となりましたが、来年度は開催できるよう願っております。